

那覇国際高等学校

学校だより 第11号



白熱！3年生激励会



「受験に向けて緊張する日々の3年生にリラックスしてもらい、楽しい思い出となる場とすること、また1・2年生との交流を通じて、親睦を深める機会とすること」を目的に「3年生激励会」が9月15日、体育館にて実施されました。1・2年生によるダンス演技やバンド演奏のパフォーマンス、3年担任からのメッセージ等で会場は熱気に包まれました。3年生、それぞれの希望進路実現に向け頑張れ！

水泳

女子400R県高新V!

ゴール直後は今まで勝てなかった那覇西に勝てたこと、優勝できたことが嬉しくてタイムは見ていなかった。「大会新記録」のアナウンスが流れ始めて気付いた。さらに高校新でもあったと知って、あまり意識もしていなかったから驚いた。末広杯(九州新人)では、400Mフリーリレーで表彰台(3位以内)が目標。応援よろしく☆キラーン！



(左から)當間彩美さん、渡辺心陽さん、木村凧さん、大城妃央さん



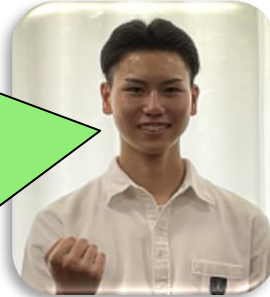
9月10日に那覇市の奥武山水泳プールにて県高校新人大会「水泳競技」が開催され、本校女子水泳部が、「400メートル・フリーリレー」で4分2秒28をマークし、従来記録を8年ぶりに0秒41縮める県高校新記録で頂点に立ちました。凄いぞ那覇国際高校！

今後の行事予定

- 9月
 - 27日(水) 中間考査1日目
 - 28日(木) 中間考査2日目
 - 29日(金) 中間考査3日目 3年生献血
- 10月
 - 1日(日) 第2回英語検定(1次)
 - 5日(木) 難関大学講座オリエンテーション(2年)
 - 6日(金) 難関大学講座オリエンテーション(1年)
 - 7日(土) 記述模擬試験(3年必修) 全国記述模試(1・2年希望者)
 - 10日(火) 総探クラス代表発表会(1・2年)
 - 13日(金) PTA勝つかレーセレモニー(3年) 3学年レク(5~7校時) 衣装コンテスト(7校時)1・2年

三線でハワイ州へ派遣

三線でのハワイ就業体験に選出されたことは、私にとって大きな喜びです。ハワイの文化を学び、新しい友達を作り、自分自身を成長させる貴重な経験をしたいです。これからの夢は、国際的な環境での仕事を通じて、異なる文化を尊重し、世界中の人々と協力して、より良い未来を築くことです。文化交流を通じて、沖縄の良さを世界に広めていきたいです。

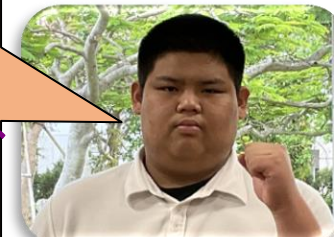


比嘉一朴さん (1年9組)

教育庁文化財課主催による「高校生伝統芸能海外就業体験事業」において、県内9校から16人が選出され、本校から1年9組の比嘉一朴(かずなお)さんが三線奏者として選ばれました。今後、生徒たちは事前研修等を経て、来年1月21日から2月3日までの約2週間、ハワイ州の小学校・高校・大学・大型商業施設・高齢者施設等で交流を深め、沖縄の伝統芸能を披露するとともに、ハワイの伝統・文化を学ぶ機会となります。凄いぞ那覇国際高校！

祝 本国体へ2名選出!

先輩しかいない中、国体選手に選ばれた時は、とても嬉しかった。沖縄県の代表として、これからも努力を続け、感謝の気持ちを忘れず、仲間と共に良い結果を持って、帰ってこれるように頑張りたい。



狩俣弥央望さん(1年8組)



喜久里彩吹さん(2年5組)

沖縄を代表する憧れの先輩方と共に「チーム沖縄」として、全国の舞台で競技ができるということに、胸が高鳴っています。自分の力を出し切って後悔のないJumpができるように練習をしっかりと頑張っていきたいです。

「燃ゆる感動 かごしま国体」の大会テーマのもと、国民体育大会が10月7日から17日までの期間、開催されます。本校から陸上「走り幅跳び」、「三段跳び」競技で2年5組の喜久里彩吹さんが2年連続の出場、「相撲」競技で1年8組の狩俣弥央望さんが出場することが決まりました。

名言・名句

The men who have succeeded are men who have chosen one line and stuck to it.

成功した人間とは、一つの道を選び、そこから離れなかった者だ。

【解説】

これは「鉄鋼王」と称されたアメリカの実業家、アンドリュー・カーネギーの言葉です。他のさまざまなことに目移りしたり、行き詰まったりすることがあるかもしれないが、一つのことを極める大切さを説いた名言だと思います。失敗しても諦めることなく、1つの目標に向けて努力を続けたいものです。



合格体験記 8 (慶應義塾大学 商学部)

(1)この大学を選んだ理由

慶應義塾大学商学部は、少人数制の授業やディスカッションなどを通して、世界中から集まる人と深くこれらについて探究できます。この環境で新たな価値観と共に知識を得ることは私の目標達成に繋がると考え、慶應義塾大学商学部を志望しました。

(2)高校在学中の勉強方法について

私は日々の授業をちゃんと聞いて、テスト前に集中的に勉強するという方法が基本的でした。実際、部活や習い事をして家に帰ると勉強する時間はほとんどありませんでした。そのため、早朝授業の前や朝学の時間など隙間時間を本当に大切にしていました。毎日の登校・下校の際に、アプリを使って単語や一問一答など基本的なものをやることは特に良かったと感じています。一度癖がつけば問題数を増やすことができ、無意識にコツコツ積み重ねることができているはずです。また、何よりも重要なことは「今日わからないことはその日で解決することだ」と思います。その際に友達と分からないところを教え合うのも良い方法だと思います。

(3)後輩へのアドバイス

「受験」という言葉を前に、具体的なイメージが湧かず、何をどうすればいいかわからない人もいます。そんな方には「当たり前前の基準を上げる」ことから始めることをおすすめします。例えば、英単語や古文単語の小テストにおいて、今まで6割の得点を当たり前前としていたなら8割を当たり前前に取れるように勉強をしてみたり、数学なら公式を覚えるだけでなく、自分で求められることを当たり前前の基準にしてみてもいいと思います。この日々の当たり前前を少し高い基準にすることで、演習に入るまでの基礎を、特別な時間を設けずに日常の中で固めることができると思います。毎日忙しいと思いますが、周りの人も頼りながら、しっかり寝て食べて、部活したり遊んだり、高校生活を楽しんでください！

本校23期生(令和5年3月卒業) 女性